

2/13
(月)交通安全ポスターコンクール
大好きな絵をこれからも

令和4年度鹿児島県小・中学生交通安全ポスターコンクールで伊唐小学校（松本浩輔校長・12人）の児童4人が入賞しました。

これは全国共済農業協同組合連合会が主催で、次代を担う小・中学生に助け合いと思いやりの気持ちを伝え、交通安全への意識を高めることを目的に長年取り組まれています。

今回は県内 207 校から、2,184 点の応募があり、山口愛叶君が県知事賞、藤後都さんが金賞、馬場朝日さんと濱畑那月さんが銀賞を受賞しました。

受賞した児童（左から馬場さん、濱畑さん、山口君、藤後さん）



山口君は「図工の時間がきっかけで、絵を描くのが好きになった。これからも大好きな絵を描き続けていきたい」と話しました。

2/13
(月)平尾地区避難施設地鎮祭
住民の新たな防災拠点

2月13日、平尾の母良木地区で「平尾地区避難施設」の地鎮祭が行われました。

これは現在同地区の避難施設に指定されている「老人憩いの家」の老朽化に伴い、住民の防災に寄与する目的で建設されます。

当日は施工業者や地元自治公民館長などの関係者30人が参加し、工事の安全を祈願しました。

同施設は令和5年度中に完成し、新たな防災拠点として使用される予定です。



安全祈願を行う様子

2/17
(金)平尾小で森林教室
森と海のつながり学ぶ

クヌギを植栽する児童

2月17日、平尾小学校（宮ノ前香織校長・76人）で森林教室が開催されました。

これは県の森林環境教育推進事業の一環で、森林・林業に対する理解と森林づくりへの参加を促進するために行われています。

当日は5年生12人が参加。教室で森と海の間について学びを深めた後、藤之元地区の森林にクヌギ200本とソメイヨシノ1本を植栽・植樹しました。

宮瀬聖真君は「森に蓄えられた水が海に流れて生物の栄養になっていると初めて知った。森の働きが大切だと学べてよかった」と話しました。